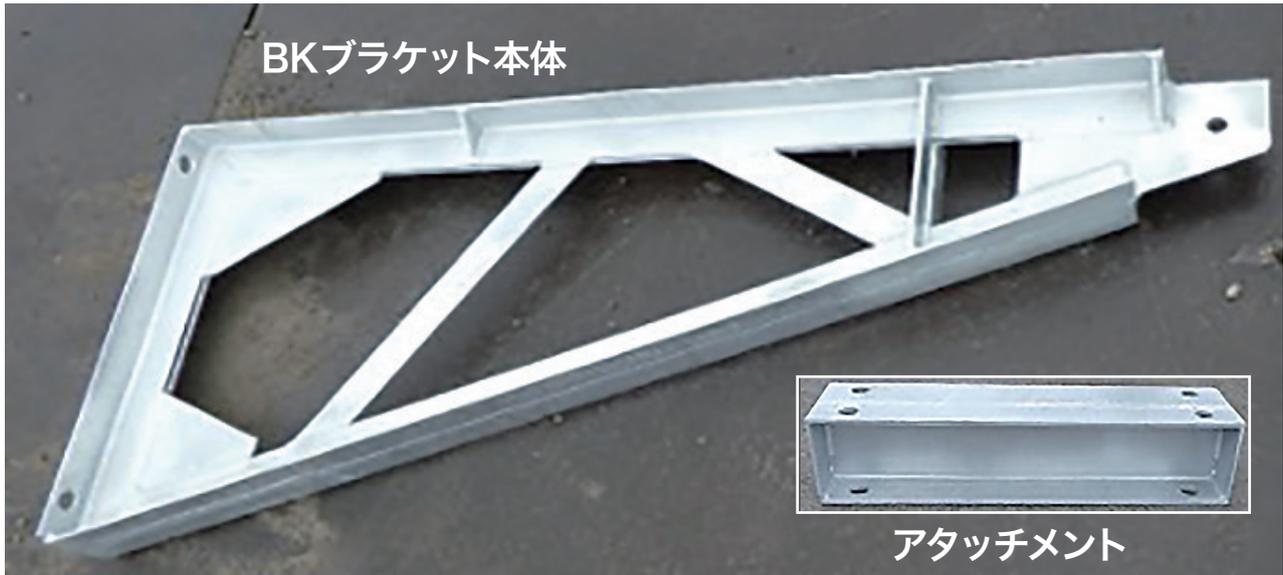


BKブラケット

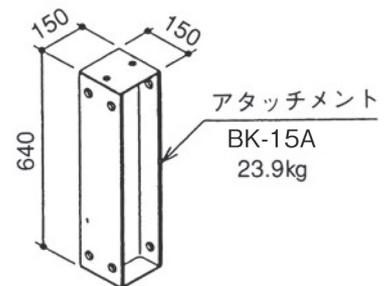
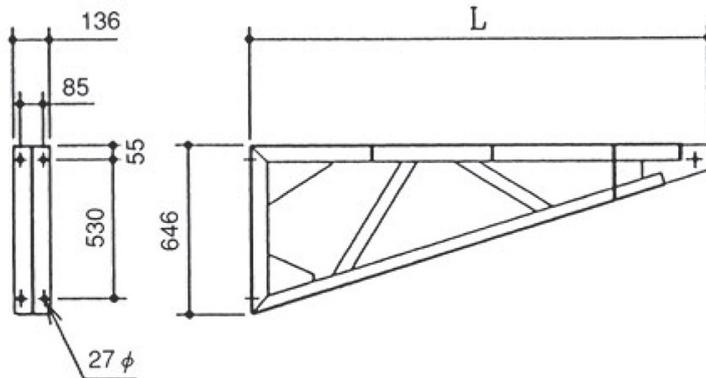
特徴

- 地上から直接足場を建てられない場合に、躯体に取り付けて足場を構築するために張り出し足場の支持台としてご利用いただけます。
- 専用のアタッチメントをセットすることで、解体作業時のアンカーボルトの食い込みによる、本体の減損を最小限にとどめます。

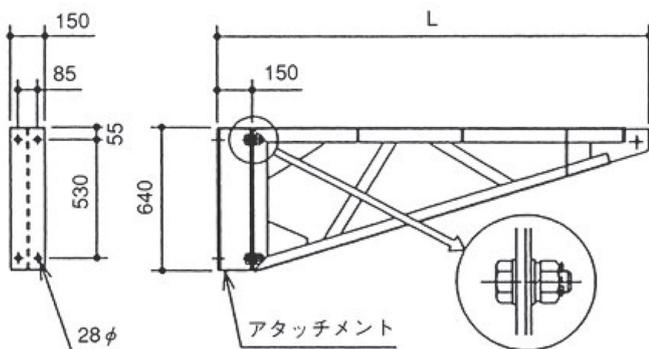


仕様

1. 本体寸法

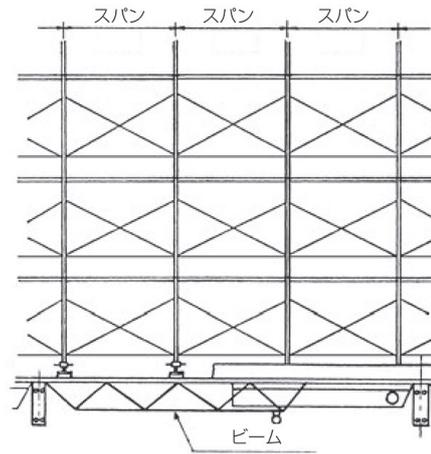
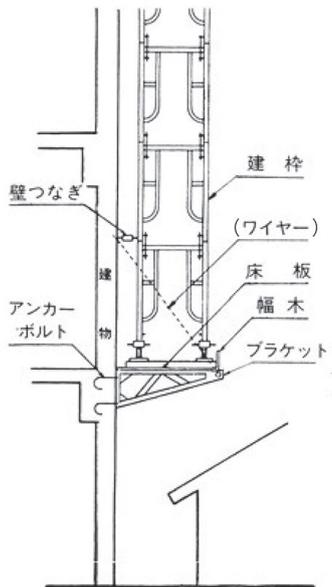


2. アタッチメント取付寸法



品番	品番	重量 (kg)	寸法 L
ブラケット	BK1306	43.4	1400
ブラケット + アタッチメント	BK1306 + BKAT	67.3	1550

◆ BKブラケット施工例



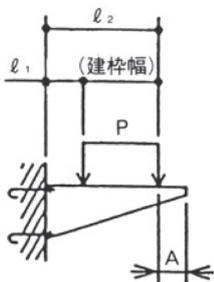
埋込みアンカーの打合せ、選定、手配は弊社では行っておりません

◆ 強度等

BKブラケットの許容積荷強度は、使用条件（特に荷重の架かり方）によって変わりますので、計測時には十分な強度検討が必要です。

① 許容荷重 P の求め方

（ただし荷重は2点均等とします。）



$$M = \frac{P}{2} l_1 + \frac{P}{2} l_2$$

$$= \frac{P}{2} (l_1 + l_2) \text{ より}$$

$$P = \frac{2M}{(l_1 + l_2)}$$

② 過重点が躯体に近い場合等は、計算上許容荷重 P が上限荷重 Pmax を超えることがありますが、使用上は上限荷重以下として下さい。

● アタッチメントを使用した場合でも、躯体から荷重点までの距離が同じであれば、計算方法は同一です。

● BKブラケットの構造上、原則として先端から 170 mm より外側（左図Aの箇所）には足場（中心）を建てないで下さい。

項目	BK1306
許容曲げモーメント	3.785 ^{TON} m (37.09 ^{kN} m)
許容荷重 P	$\frac{7.57^{\text{TON m}} (74.18^{\text{kN m}})}{(l_1 + l_2)}$
上限荷重 Pmax	$P \leq 5^{\text{TON}} (49^{\text{kN}})$

◆ 使用上の注意

① 計画段階で強度の確認を行って下さい。また、強度計算による許容強度および上限荷重を超えて使用しないで下さい。特にアンカーボルトには十分な検討を行って下さい。

② BKブラケットは、異常（変形、破損、顕著な錆、等）があるものは使用しないで下さい。本体及びアタッチメントの改造は行わないで下さい。

③ 取付時はブラケットの上面が水平になるようにして下さい。

④ 設置間隔は7.2m以下として下さい。

⑤ ブラケット上面には、隙間がないように足場板等を前面に敷き並べて下さい。先端部には、落下物等の防止のため高さ15cm以上の幅木材を設けて下さい。

⑥ 水平方向の荷重に対して十分安全なように、水平筋違等により補強して下さい。

⑦ 足場には、所定数の壁つなぎを設けることその他、根がらみを取付れたり、ブラケットとビーム、梁材、枕木、足場板、ジャッキベース等を番線、釘打ち、締め付け金具等で固定して下さい。

⑧ BKブラケット本体で強度がもつのが絶対条件ですが、BKブラケットの先端は、躯体からワイヤー等でつすより安全になります。

⑨ BKブラケットの取付位置は、原則として躯体の梁やスラブの箇所として下さい。特にベランダの手摺や躯体壁等のように、そのまま取付けると危険が予測される箇所は避けて下さい。

⑩ アタッチメント単独の使用は行えません。

⑪ 支保工足場や荷置きステージでの使用は行わないで下さい。